

果樹病虫害予察調査結果（5 / 25 調査分）
（三条・加茂・田上地域）

5月25日に実施した予察調査結果についてお知らせいたします。

（共通）

- クワシロカイガラムシ第1世代のふ化が確認されています。有効積算温度による予測では、**ふ化盛期は5月24日頃**に迎えました。各園地のふ化状況を確認し、適期防除に努めましょう。
- ナシマルカイガラムシ第1世代の**ふ化盛期が6月8日頃**と予測されています。
- カイガラムシ類は、受粉樹にも寄生が多く見られるため、丁寧に薬剤を散布しましょう。
- 薬剤防除を行う場合、降雨前散布を基本としましょう。また、**今後は薬剤による果面汚れが発生しやすくなるため、高温や急激な乾燥が予想される際は特に注意してください。**

（ナシ）

調査地点ごとに5新梢、100果を調査しました。

- 多くの地点で**花腐れ細菌病**の発生が確認されています。り病枝は切除し、園外で処分しましょう。
- 各地で、**黒星病**の発生が増加傾向にあります。り病葉・り病果を発見したら摘み取り、園外で処分しましょう。なお、薬剤散布については**JA防除情報を参考に実施し、追加散布する場合は同系統の薬剤を連用しないよう注意してください。**
- **セイヨウナシ褐色斑点病**は、一部で少量ながら発生が確認されています。今後1か月間は特に注意が必要ですので、散布間隔を空けない薬剤防除や耕種的防除（摘葉等）を行うとともに、果実被害を予防するために**6月10日頃までに袋かけ**をお願いします。

- 一部で、ニセナシサビダニによる被害が確認されました。果軸に傷が見られる場合、肥大に伴い落果する恐れがありますので優先的に摘果してください。
- アブラムシ類の寄生が一部で確認されました。散布ムラや死角になりがちな部分に集中することから、SS走行路や新梢管理に留意しましょう。

(モ モ)

調査地点ごとに5新梢、100葉そう、100果を調査しました。

- せん孔細菌病は、多くの地点で新梢葉での発病が確認されました。黒星病と同様に今後の強風や降雨で感染が拡大しやすいので、予防防除に努めてください。また、り病した枝や葉は切除し、園外で処分するとともに、**袋かけや新梢管理も早期に行いましょう。**

(ブドウ)

調査地点ごとに100葉、100果房、5a内でのつるを調査しました。

- 一部で、灰色かび病発病葉が確認されました。り病部位は切除し、園外で処分しましょう。また、過湿状態で発生しやすいため、棚下の通風も確認しましょう。
- 今回調査では確認されませんでしたでしたが、今後ハダニ類・カイガラムシ類・アザミウマ類等の発生に注意し、新梢管理や適期防除に留意しましょう。

◇ 次回調査は6月9日(金)です。

担当 : 中越支所 果樹共済係
TEL : 0258-36-8105
FAX : 0258-34-8020